1．科目名（単位数）	社会福祉入門　（2 単位）	3．科目番号	GELA1101 GELA1301
2．授業担当教員	佐々木　隆志		
4．授業形態	講義、ディスカッション	5．開講学期	秋期
6．履修条件・他科目との関係			
7．講義概要	近年急速に進展する少子高齢化など社会構造の変化に伴い、わが国はますます福祉重視型の社会をめざしている。本科目では、こうした社会の中で必要な社会福祉とは何か、また様々な福祉領域で必要な知識や実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて、基本的な学びを深める。さらにこれまでの福祉理念の変遷を概観し、急速に変化していく現代社会にあって、これからの福祉のあり方についても考察する。入門編として充実した内容であるとともに、福祉に興味を持つことに重点を置くこととする。		
8．学習目標	1．社会福祉とは何か、なぜ学ぶのかについて理解し、考察することができる。 2．様々な領域の状況(問題や政策、制度、サービス等)について理解し、考察することができる。 3．各自の国の状況も踏まえ、今後の課題やあり方について考察することができる		
9．アサイメント（宿題）及びレポート課題	アサイメントは講義の中で指示する。		
10．教科書・参考書・教材	【教科書】東京福祉大学編『レポート・試験はこう書く　新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房 【参考書】必要な参考書等は講義の中で指示する。また、必要に応じて、プリント等補助教材を配布する。		
11．成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の基準 1．社会福祉とは何か、なぜ学ぶのかについて理解し、考察することができるか。 2．様々な領域の状況(問題や政策、制度、サービス等)について理解し、考察することができるか。 3．各自の国や地域の状況比較も踏まえ、今後の課題やあり方について考察することができるか。 ○評定の方法 1．授業への積極的参加(提出物等含む) 30% 2．課題レポート 30% 3．期末試験 40%		
12．受講生へのメッセージ	本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 1.　授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2.　自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3.　欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4.　明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもＦ評価になるので注意すること。 5.　授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。 教員は以下のことを実行する。 1.　授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2.　受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3.　一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加（発言、発表等）できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。		
13．オフィスアワー	初回の講義において提示する		

14．授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第１回	講義オリエンテーション：これからの講義の内容と進行についての確認	事前学習	「社会福祉」について学ぶぼうと考えた動機について言語化できるようにする。
		事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
第２回	「社会福祉」とは？：「社会福祉」についてテキストを用いてレジュメを作成する	事前学習	テキスト p.6 を熟読し、不明な点を明らかにしておく。
		事後学習	グループで作成したレジュメ内容を推敲する。
第３回	「社会福祉」とは？：レジュメの説明（発表） 「ノーマライゼーション」について：テキストの確認とプリントの説明	事前学習	発表用レジュメの確認とテキスト p.55 を熟読し、不明な点を明らかにしておく。
		事後学習	講義で学んだ事項をノートにまとめる。
第４回	社会保障の概要①：社会保障の意義について	事前学習	「社会保障」について自身が理解している事柄をまとめる。
		事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
第５回	社会保障の概要②：社会保障に関するレジュメの作成	事前学習	テキスト p.85 を熟読し、不明な点を明らかにしておく。
		事後学習	グループで社会保障に関するレジュメを完成させる。
第６回	社会保障の概要③：レジュメの発表と解説	事前学習	作成したレジュメの内容を確認する。

		事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
第７回	「社会福祉サービス」について：社会福祉施設・機関の理解	事前学習	テキスト
		事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
第８回	社会福祉の専門職（社会福祉士）について：社会福祉に関わる専門職について知るとともに社会福祉士の専門性について理解を深める	事前学習	テキスト p.13 を熟読し、社会福祉士の社会的役割について自身の意見をまとめる。
		事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
第９回	社会福祉の専門技術について：社会福祉士が行う相談援助についてその概要を理解する	事前学習	テキスト p.138 を熟読し、支援の方法についてその体系を調べておく。
		事後学習	講義で学んだ事柄をノートにまとめる。
第１０回	実践者の話①：卒業生等から実践活動に関する話を聞き、社会福祉実践に関する理解を深める	事前学習	事前に示された講話者の専門領域について、その概要を調べておく。
		事後学習	講話内容についてまとめる。
第１１回	実践者の話②：卒業生等から実践活動に関する話を聞き、社会福祉実践に関する理解を深める	事前学習	事前に示された講話者の専門領域について、その概要を調べておく。
		事後学習	講話内容についてまとめる。
第１２回	「社会福祉」に関する説明資料の作成：「福祉教育」に使用する教材を想定し、グループ毎に資料を作成する	事前学習	これまでの学習内容、資料等をまとめ、教材作成に必要な情報を整理する。
		事後学習	発表用資料の作成
第１３回	「福祉教育」教材発表①：グループ毎に作成した教材を用いてプレゼンテーションを行う	事前学習	グループ発表の準備及び他グループの資料に目を通す。
		事後学習	グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。
第１４回	「福祉教育」教材発表②：グループ毎に作成した教材を用いてプレゼンテーションを行う	事前学習	グループ発表の準備及び他グループの資料に目を通す。
		事後学習	グループ発表に対する他グループからのフードバックを受ける。
第１５回	まとめ	事前学習	個人レポートの作成
		事後学習	社会福祉入門において理解が促進した事項についてまとめ、言語化できるようにする。
期末試験			